

東北大会が待っている

ソフトテニスペア

それぞれ

ソフトテニス男子個人戦 東北大会出場



東北大会出場を決め喜ぶ
磯辺君（左）と上神田君

第四十八回県中学校総合体育大会が、七月二十日から二十二日までの三日間、盛岡市太田テニスコートを含めた三会場それぞれ行われました。

その結果、普代中学校（大崎英雄校長、生徒百三十三人）では、ソフトテニス部男子個人、磯辺直輝君（三年）、上神田健太君（同）ペアが同大会・男子個人戦で見事優勝。嬉しい東北



普代郵便局からふるさと交流センターまでパレードする普代中ソフトテニス部員

大会出場権を獲得しました。

その他、四種目団体・三種目個人（バドミントン部・団体・個人）、ソフトボール部、ソフトテニス部男女団体・個人）が出場。残念ながら東北大会へのキップを手にすることはできませんでした。皆さんの頑張りを心からたたえたいと思います。

東北大会は、八月三日から五日まで福島県須賀川市で行われます。

東北大会の活躍を期待します。

その結果、普代川河口付近が診療所付近の水より汚

れぞれ水質検査を行いました。

七月二十四日、黒崎小が普代川河口付近、同二十七日、普代小（藤沢俊明校長・児童百十八人）では普代川診療所付近、同二十九日、茂市川北の股上流を鳥茂渡小（菅原伊保校長・児童十八人）がそ

水生生物調査

ない水で、「ホンドロソコエビ」が多く、きれいな水にすむ水生生物は見つかりませんでした。逆に茂市川北の股上流では、きれいな水にだけ生息している「沢ガニ」が確認されています。



普代川河口付近の水質調査



ネダリ浜で稚ウニ放流

流しました。

放流後、黒崎小の森子勇介くん（六年）は「川や海がだんだん汚れてきています。ゴミを川や海にだけでなく、山や道路などにも捨てないようにしたいと思います」と感想を語ってくれました。



稚ウニ放流前の整列。緊張が走ります（堀内漁港まついそ公園）